

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方法

退職給付引当金

役・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している。

2. 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	2,859,800	1,014,680	2,738,180	1,136,300

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	1,136,300	(0)	(0)	1,136,300